

# F—18 農山漁家の健康・家政管理に関する調査研究(第1報)

愛知県農業技術課	○石垣志津子
椋山女学園大家政	山口 久子
山田家政短大	森川 きく
名古屋女大短大	武藤富美子

1. 最近の農業事情等の変化は、特に農山漁家主婦の過重労働にみられるごとく、農林漁業者(その世帯員を含む)の健康・家政管理上に多くの問題点があり、生活環境、生活意識、労働条件、栄養等の面において改善すべき点が多い。このような現状に対し、これ等の人々の健康増進と家政管理の合理化を図るため、特定地域を設定し、当該地域における健康生活・家政の管理上の課題の解決を図ることを目的とし、その成果の波及に資するものとする。

2. 愛知県農林部農業技術課により実施されている“農山漁家健康生活管理特別事業”の一環として、本調査とその研究を実施。

調査対象は、安城市福釜町の297戸、渥美郡赤羽根町高松一色281戸より、無作為抽出により、各50戸を選定。

調査期間は、昭和44年8月～46年3月まで数回に分けて行う。今回は、44年8月～45年8月までとし、調査は記入、面接法による。

3. 1)所得の増大は、農家の生産規模拡大にのみ投入され、これに伴う労働条件、経営管理は意識外にある。また、生活面では新住宅や、耐久消費財に消費されることが多く基本的な第1生活費に対する消費はうとんじられて、種々の健康障害をきたしている。

2)特に衛生・農薬に対する観念と危害認識、食習慣と炊事担当者、主婦の献立権、財布権等に生活意識の低調さが見受けられ、この面の意識改革こそ緊急的課題である。